

北海道文教広報



特集 HBUでグローバル感覚を身につける!

恵庭で、海外で、アクティブラーニング
体験者に聞いてみました!

北海道文教大学附属高等学校
“生徒の想い”あふれ、はじける高校生活

幼保連携型認定こども園北海道文教大学附属幼稚園
こども園の夏!!

撮影／国際学部
国際教養学科2年
山田好海(写真部部长)

暑さ寒さも彼岸までといいますが、今夏の酷暑がうそのようにキャンパス周辺の木々もほのかに色づきはじめ、学びの秋、スポーツの秋を迎えております。

さて、新型コロナウイルス感染症が5類に移行してから1年以上が経過しました。本年7月から9月にかけて開催されたパリオリンピック・パラリンピック2024は有観客で行われ、世界中が盛り上がったことは記憶に新しいところです。

本学園におきましても、コロナ禍前の賑わいや活気が戻り、学生たちが学内のみならず、地域での活動に取り組んでいます。また、本年4月に開設した地域未来学科では、早速フィールドワークに飛び出し、現場でわからない情報や知識に触れる日々を送っています。

附属高等学校と附属幼稚園は、恵庭の地で4年目を迎え、校内、園内のほか、恵庭市をはじめとする近隣関係団体との連携した活動などが活発に行われている

ところであり、教育上、大変重要な取り組みとなっています。

ますます予測が困難な時代となる中、社会が持続的に発展し、活力のある社会が創造されていくためには、現今の課題に立ち向かっていく人材が必要です。人材の育成や成長の過程には、さまざまな困難が待ち受けています。本学園が掲げた建学の精神には、そうしたことに立ち向かい、社会に貢献する人材を育成するという意味が込められおり、創立100周年に向けて、この建学の精神をしっかりと引き継ぐ使命があると考えています。引き続き、本学園の教育・研究活動等にご支援とご高配を賜りますようお願い申し上げます。



学校法人鶴岡学園 理事長
鈴木 武夫

見て・聞いて、海外研修で世界を HBUでグローバル感覚を身につける!

国際学部国際教養学科4年 **野藤颯人**さん × 国際交流センター長 **青 晴海**

来年度に全学部対象研修プログラムの一環で、カンボジア研修を予定しています。
これに先立ち、3月16日(土)～21日(木)、HBU国際交流センターの青晴海センター長と
国際学部国際教養学科の野藤颯人さんが、現地を視察してきました。
さて、どんな視察旅行だったのでしょうか?

青: 野藤君は初めて東南アジアを訪れ、まだ、旅の余韻が残っているんじゃないかな?

野藤: ええ、時々、スマホで撮影した写真を見て、また行きたいなあなどと思いながら、残り少ない学生生活を過ごしています。

青: 成田からタイのバンコクを経由してカンボジア第二の都市シェムリアップへ行き、ここを拠点に、女性支援活動の拠点や公立小学校、世界文化遺産のアンコールワットなどを視察したけれども、滞在1日目から振り返ってみましょうか。

野藤: ぼくは、青先生がホテルで休んでいる間に、一人でトンレサップ湖の湖上レストランに行きました(笑)。

青: そうだったね(笑)。うちの大学では語学研修でカナダやオーストラリアなどに行くことはあっても、これまで、カンボジアのように貧困やそれに伴う教育などの課題を抱えている国での実学研修は行われていなかった。それで、来年から全学部対象研修プログラムとしてカンボジアに行こうと考えています。今回は、学生のニーズを把握するために、学友会や学校祭などで

海外は3度目という
野藤さん。JICA青年
海外協力隊に参加
するのが夢。

アンコールワットなど
異文化を肌で感じて、
刺激的でした!



積極的に活動してきた野藤君に同行してもらったわけですが、トンレサップ湖まで行ってくれたおかげで、来年の研修コースに組み込もうかと検討中です。

野藤: えっ、そうなんですか?

青: だって、面白かったというじゃないですか。

野藤: はいっ! シェムリアップの街は想像に反して整備されていました。視察前にネット検索で調べた情報の中には、カンボジアには伝統的に高床式の家があり、その床下には放し飼いの鶏がいるといった暮らしぶりがあった、実際に見たいと思っていました。観光客向けのボートで湖上レストランまで行く途中で、その高床式の家が並んでいる様子を見られたんです! 湖上レストランの床下でワニがくつろいでいて、ぞっとしましたが(笑)。

青: そういう驚きや感動が大切なんです。今回は博物館なども見学したけれども、野藤君は興味を示さなかった。ですから、来年の研修ではここは行くかどうか迷っていますけどね。

野藤: 2日目に訪れた女性支援の施設も興味深かったですね。

青: あそこは、日本の認定特定非営利活動法人 SALASUSU (サラスूसー) がカンボジアの女性支



▶ 世界文化遺産アンコールワットにて。

実感!!

教授のカンボジア報告

2025年3月には
全学部から
希望者を募り
カンボジアへ

HBU赴任前は、国立大学法人島根大学で活躍したほか、JICA職員として中国やタイなど4カ国に駐在し、出張で40カ国ほどをまわった。国際支援のエキスパートで、HBUの副学長も兼任する。



▲小学校では屈託のない笑顔の子どもたちが集まってきた。
◀サラススーで職業訓練の様子を見学する。



►牛肉のサイコロステーキと揚げ春巻き。



援のために開いた施設で、ライフスキルトレーニングを行う学校のほか、敷物などを作る職業訓練施設と販売ショップを運営しています。貧しい農村部の女性たちを支援する取り組みなので、本学の学生にはぜひ見てほしい施設です。

野藤： ぼくは3日目に訪れた公立小学校がとても印象に残っています。

青： あそこは青年海外協力隊の先生がいる学校ですが、どんな点が印象深かったのですか？

野藤： 子どもたちがすごくフレンドリーで、カメラを向けるとダーッと寄ってきてくれて、とにかく明るくて元気なんです。カンボジアでは自転車の後部に座席がついているトゥクトゥクで移動していましたが、その運転手さんもフレンドリーで、滞在中、ずっと彼にお願いしました。行く先々で心温まる光景を目の当たりにした感じです。

青： 日本との違いをさまざまな場面で実感したようですね。食事はどうでしたか？ 感染症が怖いので屋台を避け、小ぎれいな店を選んだのですが。

野藤： カンボジア料理らしい食事は、サイコロステーキや揚げ春巻きくらいだったと思いますが、おいしかったです。

青： 最終日に訪れたアンコールワットはどうでしたか？

野藤： 規模の大きさに圧倒されました。来年のカンボジア研修でも行きますか？

青： もちろん、行きます。カンボジア最大の観光地で、HBUの国際学部は観光に力を入れているので。ただ、来年のカンボジア研修で全学部を対象にするのは、各学部の学生の将来に役立つと考えるからです。例えば、小学校の見学はこども発達学科で小学校教諭を養成しているので、日本の学校との違いを知る機会になります。また、現地で食べる料理は、特に健康栄養学科の学生には食文化や栄養面の違いなどを知る機会になります。価値観や文化の違いを実感すると自分の世界も広がり、人生そのものを豊かにしてくれます。野藤君が味わった感動や思索の機会を多くの学生に経験してもらいたいですね。

多様性の時代は、恵庭で、海外で、体験者に聞いてみました！

初めての海外、イギリス研修で視野が大きく広がった

人間科学部理学療法学科3年 橋本瑞姫さん

2月25日(日)～3月4日(月)まで、イギリス研修旅行に参加しました。メンバーは、リハビリテーション学科と看護学科の学生11名です。

レスター大学では医学部の学生と交流し、アッシュフィールドアカデミーやセントクリストファーホスピスなど複数の医療福祉施設を訪れて見学と学習の2本立て研修です。

技術的に何かを学ぶという機会ではなかったのですが、医療・福祉の現場スタッフが、日本では「患者さん」とひとくくりにしてしまう相手に対して、その人のありのままを受け止め、「個人」として接していたのは新



鮮な驚きでした。

研修の合間には博物館を訪れたり、アフタヌーンティーを楽しんだりと観光もできました。

理学療法士として働くようになってからでは、海外研修と観光を同時に経験できる機会はないだろうと思って参加しましたが、チャンスがあれば、ほかの国も訪れたいです。

同行した医療保健科学部長・人間科学部長
横井裕一郎教授よりひと言

異文化に触れることで、今の自分、将来の自分を考えるきっかけになります。広く医療、保健、福祉分野への問題意識を持ち、将来の生きる基盤となることを期待しています。次回のイギリス短期研修は、2025年2月24日～3月5日を予定しています。費用の一部はHBUで補助します。皆さんもぜひこの機会をご利用ください。



写真の左側手前が橋本さん。中央が横井教授。
*理学療法学科の学生募集は2023年4月の改組により「医療保健科学部リハビリテーション学科理学療法専攻」に移行しました。

「チャレンジド教室」でプラスワン

人間科学部こども発達学科4年 後藤新奈さん

こども発達学科で長年取り組んでいる「チャレンジド教室」に、1年生のときから参加しています。

この教室は、注意欠陥多動性障害や学習障害などで支援を必要とする子どもを対象に、毎週金曜日に開催しており、運動や工作などを通じて参加者と学生が交流することで、子どもたちの豊かな成長を支えようという取り組みです。

例えば、通常の学校教育にはなかなかついていけなくても、工作が得意、縄跳びが得意、周囲の人たちを笑顔にするなど、その人らしさとい

うものがあります。その個性を発揮してもらう場所がチャレンジド教室です。

活動を続けているうちに、「普通ってなんだろう？」と考えるようになりました。通常学級でも、子どもたちは何かしらの「困り」を抱えているものです。念願かなって小学校の先生になったときには、チャレンジド教室での経験が生きて、その「困り」に目を向けられると思います。私にとっては、実り多いHBUでの4年間になりそうです。



アクティブラーニング

机に向かい、講義を受けているだけが大学の学びじゃない！ 実学を重視するHBUではアクティブラーニングを通じ、新

たな視野を広げて、新しい自分を発見している学生が大勢います。今回は、海外研修や社会貢献活動を経験した学生の声をご紹介します。

K-POP好きが高じて韓国・延世大学に短期語学留学

医療保健科学部看護学科2年 白綾 瞳さん

K-POPが好きで、韓国語や韓国の文化に興味を持ちました。「やりたいことをやる」というのが今年目標で、海外旅行の経験はないし、一人だし、お金もかかるし、勢いだけで行っているのか？と迷いましたが、パスポートを申請し、旅行会社も自分で探して、8月2日（金）から約1カ月間、ソウル市内にある延世大学で語学研修を受けました。

韓国には「コシテル」とって、大学の近くに留学生も利用できる学生寮があります。机とベッドがあるだけの部屋ですが、リーズナブルだったのでここに泊まりました。私が受講したクラスにはドイツやオランダ、香港などから来た学生もいて、彼らとの交流も楽しかったし、日常

会話程度の韓国語も話せるようになりました。看護師になったら役立つことがあるかもしれません。

今回、留学準備の段階から自分でやったので、自信が付き、達成感も大きいです。今後は実習や勉強で忙しくなりますが、長期休暇を活用して、また行きたいです。



日本人リハスタッフのスキルは世界トップクラス 多様性の時代を支える作業療法士(OT)

立つ・座るなど基本的な身体動作のリハビリテーションをサポートする理学療法士（PT）に対して、作業療法士（OT）は、日常生活を送るために必要な応用的動作能力や、社会参加に必要な社会的適応能力のリハビリテーションをサポートする仕事です。

日本では国家試験の受験資格は養成施設で3年以上学ぶことが条件ですが、欧米では大学卒業か大学院修士課程、博士課程修了が一般的で、年収は日本の2倍以上。また、日本では医師の指示のもとで治療が行われますが、欧米では医師と同等の立場

なので、独自の判断で治療を行えます。昨年12月に視察したオーストラリアの大学では、附属病院で治療を受けている患者さんが実習室に来て学生実習に協力するなど、日本とは異なるシステムの中で即戦力の育成に力を入れていました。

HBUでは海外でも活躍できる人材育成を目指し、国際学部で英語や中国語などの講義を受講できます。実習

にもさらに力を入れ、世界で活躍できるOTを育てたいと思っています。



医療保健科学部リハビリテーション学科作業療法学専攻
教授 金子翔拓

2024年度前期も キャンパスは話題盛りだくさん!

フードロス削減をしよう! ^{食育アイドル} えにわっ娘. IX-ALICE × 恵庭市廃棄物管理課

食品廃棄量は2022年度で約472万トン。1人あたり毎日約103gの食べ物を捨てています。食べ物をムダにしない!との思いからHBUの食育アイドル、「えにわっ娘.」と「IX-ALICE (イザリス)」が、地元の恵庭市と連携してフードロス削減推進運動を展開中です。「私たちを応援してくれている人たちはもちろんですが、ライブパフォーマンスの合間での食育講話や、YouTubeでの動画配信などで、食の大切さを知ってもらえるような活動を続け、同時に、フードロス削減についても伝えていきたいなと思っています」と、IX-



ALICEの春陽かおりさん。ぜひ、QRコードから関連サイトへ!



野球を通じて国際交流 野球用具や文房具でスリランカを応援

1951年のサンフランシスコ講和会議で対日賠償請求権を放棄するなど、太平洋戦争終結後、日本が国際社会に復帰するための道筋をつくってくれたスリランカ。HBUは同国のルフナ大学と学術交流協定を結び、講演会の開催など交流を続けてきました。

ところが、2022年に国家財政が破綻。国民の多くが生活に困り、文房具や野球道具などが不足しているという情報が国際協力機構 (JICA) ス

リランカ事務所の元所長で、HBUの青晴海副学長の元には届きました。そこで、6月から公式サイトなどで寄付を募ったところ、1カ月でバット157本、グラブ93個、ボール約1000個と文房具が各地から寄せられ、HBU野球部員たちが仕分け作業を行いました。

野球部は国際学部の学生が多く、来年2月には部員約20名がスリランカを訪問する予定です。「大好きな野球を通じて、スリランカの未来を担



う子どもたちの力になりたい」と、皆研修を楽しみにしています。



2024年4月新設の人間科学部地域未来学科 「道と川の駅 花ロードえにわ」で地域活性化を学ぶ

この4月からスタートした人間科学部地域未来学科は、人口減や超高齢化といった課題を抱える日本で、問題解決に向けて考え・行動できる人材の育成に力を入れています。教員の顔ぶれも他大学や省庁などで活躍してきたベテランぞろい。得意とする研究分野に関連する施設などで

「訪問研修」授業を行っています。

6月14日 (金) に「道の駅」の研究で全国的に知られる熊野稔学科長により行われた「地域を知る」の授業では、「道と川の駅 花ロードえにわ」が研修場所に。道の駅は、売り手と買い手の双方にとって魅力ある場所です。今回の研修場所は規模が



大きく、施設運営に携わっているスタッフの方々の説明に、学生たちも大いに刺激を受けたようでした。

釜めしいちえ×えこりん村×人間科学部健康栄養学科 ECO弁をオープンキャンパスで披露

地元の特産品 おいしく健康!

もこもこ羊の パンプキンケーキ

えこりん村の羊をモチーフに、恵庭産えびすかぼちゃで挑戦。「ICHIE Flower&Sweets」の統括パティシエ村上氏の職人魂に助けられて完成!

サラダ

サニーレタスや紫キャベツなど、野菜のシャキシャキ感を生かすために、ジュレ状の柑橘系ドレッシングで食べやすさを重視。

ローストポーク

えこりん村の自然の中で育てられた放牧豚『こな雪とんとん』を使用。コクとうま味がギュッと詰まった自信作です!

豆腐とれんこんの ハンバーグ

肉・卵・小麦粉は不使用。豆腐は恵庭の「やまぐち食品」のもの。食物繊維豊富なれんこんで腸活にも!

びっくり! とうきび

とうきび(とうもろこし)は糖度の高さに注目し、恵庭の吉田農場で栽培されている「恵味ゴールド」を使用。美味!

黒米ごはん

黒米は、えこりん村の「ふゆみずたんぼ」で栽培。水は恵庭の美味しい地下水。農薬も不使用。地産地消の豊穡の味です!

ECO弁はたんぱく質、脂質、糖質、食物繊維、ビタミン、ミネラルがバランスよく摂れるように配慮。SDGsの観点から残食ゼロを目指した。

昨年夏の「ECO弁」第一弾の発表から1年。健康栄養学科はSDGsへの貢献をコンセプトに、HBUと包括連携協定を結ぶ、地元恵庭市の「釜めしいちえ」と「えこりん村」と共同で第二弾を開発しました。

今回は、食物アレルギーを重視して、小麦・卵・乳は不使用。「食のバリアフリー」(宗教、アレルギーや健康上の理由などで食の制限を持つ人々が、そのバリアを感じることなく食の楽しみを共有できること)への取り組みに力を入れてきた健康栄養学科の新たな挑戦です。

「アレルギーを除去しつつも、おいしいと思っていただけるメニューづくりが大変でした。第一弾で不人気だったメニューの残食をどうするかが課題となり、今回は新たにデザー

トを考案しました」と、3年の佐藤桃花さん。

そして、完成したのが恵庭の特産品のえびすかぼちゃで作った、『もこもこ羊のパンプキンケーキ』です。「アレルゲン除去の観点から、使える食材にかなり制限があり、いろいろな組み合わせを考えて何度も試作を行いました。例えば、豆腐のハンバーグは肉・卵・小麦を使っていません。また、黒米はえこりん村の『ふゆみずたんぼ』で栽培されたお米で、地産地消も意識しました。先生方

▶写真前列左から2人目が佐藤さん。

や、実際に調理を担当してくださった、釜めしいちえ様のご協力で完成しました」。

知識と技術と熱意の込められたこのSDGsなECO弁。8月3日(土)のオープンキャンパスで健康栄養学科への参加者にふるまい、高校生の間でも大好評でした。



北海道文教大学附属高等学校

"生徒の想い"あふれ、はじける高校生活

北海道文教大学附属高校の「思い」の^{たすき}樫を
未来につなぎたい 学校長 宮路 真人

この3月まで他の私学に勤務し、ご縁があって本校にまいりました。本校が長らく育んできた「良さ」に未来社会において必要な理念をミックスし、生徒たちが人に敬意を払い、人とともに

に、しかし、主体性を持って生きていく人間に成長するよう支援していきたくと思います。表面上の姿こそ変われ、本校の「思い」の樫を未来につなぎたいと願っています。



暑熱フルスロットル！ BUNKYO FESTA 2024

7月11日(木)、12日(金)の2日間、学校祭が開催されました。前日までに完成させたHR装飾をはじめ、体育館でのクラス発表や部活動・有志発表では、みんなで協力し準備してきた成果を発揮し、最高のパフォーマンスを披露しました。また、PTAの保護者によるバザーやキッチンカーなどによる昼食の提供がお祭りムードを高め、暑さも吹き飛ばす勢いで大いに盛り上がりました。



食物科

懐石料理・田植え・窯業体験
食物科は実践力を更新中

5月15日(水)、食物科2年生が札幌市にある昭和20年創業の川甚本店へ懐石料理をいただく校外実習に行きました。日本料理の作法、厳選された食材やこだわりの調理技法、接客の心得など、多くを学んだ1日となりました。

た。この他にも、農業体験(田植え、6月14日)、北海道白樺高等養護学校における窯業体験(6月28日・7月5日)など、積極的に地域に飛び出して学びを深めています。



Taiwan-Japan

苗栗県私立君毅高級中学と
交流

5月21日(火)、台湾の苗栗県私立君毅高級中学の生徒・教員33名が修学旅行の交流事業の一環として本校を訪れました。台湾の生徒たちは数名ずつに分かれて授業体験をし、また、2年生のグローバルプログラムの生徒たちと学校紹介や文化紹介、グループディスカッションを通して交流しました。

最初はためらいがちだった双方の生徒たちも、しだいに英語でコミュニケーションを取るようになり、終了時間ともなると別れを惜しむ姿があちこちで見受けられました。



New Zealand-Japan

NZから短期留学生

7月3日(水)～22日(月)までの約3週間、ニュージーランドのティマル市から留学生が来校しました。留学生は本校生徒の家にホームステイしながら、3年生のHRに入って授業や行事に参加し、交流を深めました。



2021年に札幌市南区藤野から移転して4年目を迎えたこの4月、附属高校では宮路真人第十四代校長が新たに就任しました。創設者の鶴岡新太郎・トシ夫妻が掲げた学訓「清く正しく雄々しく進め」の精神のもと、生徒たちは学内・学外でのびのびと高校生活を送り、「主体的に学び、考え、行動できる姿勢」を育んでいます。

イベント盛りだくさんの恵庭 花と祭りで地域交流

6月9日(日)、園芸部が「花の拠点 はなふる」内のスターバックス前にある花壇の手入れを地域やお店の方々と行いました。昨年に咲き終えたものを取り除き、その空いた

園芸部



スペースに新たに数種類の花の苗を植えました。

8月4(日)、「黄金南町内会・ふれあい夏祭り」のお手伝いにボランティア部が参加しました。おにぎり、とうきび、焼きそば、飲み物販売のお手伝いをし、町内会の方たちと一緒に大忙しの活動となりました。



躍動感キラリ★ チームワークで部活に賭ける!

吹奏楽部



8月3日(土)、全日本吹奏楽コンクール第69回北海道予選札幌地区大会C編成の部に出場しました。結果は昨年に引き続き金賞。惜しくも全道大会への代表には選ばれませんでした。今できる一番の演奏をすることができました。

男子サッカー部



6月12日(水)から稚内市で行われた全国高校総体北海道予選に本校男子サッカー部が出場しました。2回戦で北海高校に延長PK5-6で惜しくも敗戦しましたが、全道の舞台で自分たちの力が通用することを証明でき、大きな自信となりました。

女子サッカー部



7月30日(火)から室蘭市で行われた全国高校総体女子サッカー競技に本校女子サッカー部が出場。1回戦で今大会準優勝した大阪代表の大商学園と対戦し、0対4で敗れました。キャプテンの曾我妃加里さんは(3年)は、「ミーティングで選手全員が気持ちを入れ直し一丸となって戦っただけに悔しい思いでいっぱいですが、次は絶対に勝つという闘志も生まれました。この悔しさを次の選手権大会にぶつけたいです」と語りました。

幼保連携型認定こども園
北海道文教大学附属幼稚園

流しそうめん・お泊り会・ 昆虫観察……こども園の夏!!



暑い暑い夏も、こども園の子どもたちにとって、特別の体験ができる季節です。

7月19日(金)と20日(土)は、年長クラスの「お泊り会」でした。異年齢縦割りクラスで一番頼りになる存在の5歳児、「つるのこ組」だけが行う恒例の行事です。

4月、かめの子組(4歳児)からつるのこ組(5歳児)へと進級して、まず年長になって「どのようなことを(経験)したいのか」をクラスのみんなでじっくりと話し合いました。日々の生活をはじめ、運動会や発表会、お泊り会などの行事で活躍する、これまでの「つるのこさん」の姿を見て憧れの気持ちを高めていた子どもたちは、「やりたいこと」「なりたいこと」を発表し合い、その内容を1年間の計画にしました。その初めの大きな行事の「お泊り会」なのです。

ねらいは、「年長児としての自覚を高める」です。準備から実行まで子どもたちだけで行おうと、当日までにみんなで助け合いながら進めてきました。夕食時の流しそうめんでの子どもたちの充実の表情をご覧ください。

夏は、特に自然に触れ五感を十分に働かせることのできる季節です。草・木・水や昆虫、小動物との出会いがふんだんにあります。各年齢の毎日の生活の中で伸び伸びとかかわる子どもたちの姿を写真でご紹介します。

園長 小田進一

みんな、
すくすく
元気です!



つぼみ組(2歳児)
つぼみ組で育てたきゅうりをバクッ。普段は野菜が苦手な子も「おいしいね」と食べていましたよ!

めばえ組(0歳児)
初めての水遊び。バシャバシャ叩いて、感触を楽しんでいました。水が気持ちよくて、ニコニコしていましたよ。



ふたば組(1歳児)
とんぼを見つけて腕にのせ、飛ばないかドキドキです。友だちも「見せて～」と集まってきましたよ。



つるのこ組(5歳児)
お泊り会で何をするか話し合う中で、子どもたちから「流しそうめんがしたい!」という意見が上がりました。箸を使い、流れてくるそうめんをすくい取れると大喜びで食べていました。



クラスで育てているカブトムシとクワガタムシ。文字が読める年長児は、図鑑で調べて学んだことを年下の友だちに教えてあげています!



おやつで食べる、とうもろこしの皮むきをしました。友だちと力を合わせて皮をむき、その味は格別だったようです!



包括連携協定100件達成報告

2024年7月23日(火)、学生の人材育成や地域貢献を目的に進めてきた包括連携協定が100件目となりました。2014年8月に恵庭市と初めて協定を結んでから10年。この間に、ポッカサッポロ北海道とのレモンレシピ集発行をはじめ、締結先の自治体や民間企業への就職など、学生の可能性を広げるさまざまな取り組みが行われてきました。

100件目は神奈川県乗馬クラブ、株式会社ノースウェルズファームと締結しました。多様性社会の今、障がいの有無や年齢にかかわらず人々の健康的な暮らしがより一層求められています。今回の締結を機に、「ホースセラピー」の研究や製品開発などを進める予定です。



自治体 12件

- ① 恵庭市
- ② 登別市
- ③ 北海道後志総合振興局
- ④ 倶知安町
- ⑤ ニセコ町
- ⑥ 富良野市、富良野商工会議所及び一般社団法人ふらの観光協会
- ⑦ 留寿都村
- ⑧ 南幌町
- ⑨ 平取町
- ⑩ 木古内町
- ⑪ 厚真町・安平町・むかわ町
- ⑫ 東川町

医療関係 14件

- ① 社会医療法人禎心会グループ
- ② 医療法人社団豊生会
- ③ 社会福祉法人恩賜財団済生会支部北海道済生会小樽病院
- ④ 医療法人北海道整形外科記念病院
- ⑤ 医療法人亀田病院
- ⑥ 社会医療法人 北斗
- ⑦ 医療法人ケイ・アイ
- ⑧ 医療法人徳洲会日高徳洲会病院
- ⑨ 社会福祉法人北海道社会事業協会洞爺病院
- ⑩ 一般財団法人SAITO MEDICAL GROUP
- ⑪ 八雲総合病院
- ⑫ 医療法人愛全会
- ⑬ 医療法人友愛会
- ⑭ 医療法人財団明理会道南ロイヤル病院

教育関係 12件

- ① 学校法人札幌大学
- ② 東京農業大学
- ③ 学校法人神田女学園神田女学園中学校高等学校
- ④ 学校法人リズム学園
- ⑤ 認定こども園クラーク幼稚園
- ⑥ 帯広大谷短期大学(教育連携協定)
- ⑦ 東和新日本語学校及び 東和国際学院

- ⑧ 北海道科学大学、札幌大学
- ⑨ 北海道日本語学院札幌本校
- ⑩ 北海道教育委員会
- ⑪ 札幌山の手の高等学校
- ⑫ 北海道栄高等学校

民間企業 47社

- ① 北ガスジェネックス株式会社
- ② 福屋物産株式会社
- ③ 株式会社玉川組
- ④ 株式会社フジマック
- ⑤ 株式会社コクサク
- ⑥ 丸善雄松堂株式会社
- ⑦ オニマル食品株式会社及び株式会社オニマル
- ⑧ ジェイ・エスコムホールディングス株式会社
- ⑨ Good Needs Group
- ⑩ 生活協同組合コープさっぽろ
- ⑪ 株式会社久原本家グループ本社及び株式会社北海道アイ
- ⑫ ポッカサッポロ北海道株式会社
- ⑬ 株式会社アレフ
- ⑭ 株式会社ロパパン
- ⑮ 株式会社ディー・エヌ・エー
- ⑯ 株式会社ネクストビート
- ⑰ 株式会社ふくれん
- ⑱ Hokkaido Alpine Resorts Management 合同会社
- ⑲ 株式会社めもるホールディングス
- ⑳ 株式会社やまぐち食品
- ㉑ サツドラホールディングス株式会社
- ㉒ 明治安田生命保険相互会社苫小牧支社
- ㉓ 株式会社北海道新聞社
- ㉔ 有限会社恒志堂
- ㉕ 株式会社北海道銀行
- ㉖ 道路建設株式会社及び道路建設ペリグリン
- ㉗ 北海道文化放送株式会社
- ㉘ 株式会社リバネス
- ㉙ 株式会社One Terrace
- ㉚ 株式会社北日本消毒
- ㉛ 株式会社三星
- ㉜ DRC株式会社

- ㉝ 株式会社エーエスピー
- ㉞ 株式会社フロンティアズ・インターナショナル
- ㉟ 株式会社ウォーターワールド、株式会社エムシーバイオ及び株式会社シリカテックス
- ㊱ 株式会社 PLAIN AND SEA
- ㊲ 株式会社ビルメン鹿児島及び株式会社明成商会
- ㊳ 株式会社SHARE
- ㊴ 株式会社島田農園
- ㊵ 株式会社WM I
- ㊶ マウントエナジー・ジャパン株式会社
- ㊷ 大和リース株式会社北海道支店
- ㊸ 株式会社レバंगा北海道
- ㊹ 株式会社テイクサン・トレーディング
- ㊺ 日本アミタス株式会社
- ㊻ 株式会社ふるさと物語
- ㊼ 株式会社ノースウェルズファーム

その他各種法人・協会 15件

- ① 一般社団法人恵庭市青年会議所
- ② 北海道高等学校長協会農業部会
- ③ 恵庭ロータリークラブ
- ④ 恵庭商工会議所
- ⑤ 一般社団法人日本化粧品検定協会
- ⑥ 社会福祉法人恵望会
- ⑦ 北海道オール・オリンピックス
- ⑧ 地域創生実践総合研究所 及び 日本地域創生学会
- ⑨ 恵庭ライオンズクラブ
- ⑩ 一般社団法人日本パイアスロン連盟
- ⑪ 一般社団法人未来工房
- ⑫ 一般社団法人札幌カーリング協会
- ⑬ 認定NPO法人まちづくりスポット恵み野
- ⑭ 恵み野商店会
- ⑮ 恵庭駅通商店街振興組合

令和5年度(2023年度) 鶴岡学園事業報告

I 学校法人の概要

学生・生徒・園児数の状況

学校名	入学定員数	収容定員	現員数
北海道文教大学			
外国語学部	100	100	47
人間科学部	250	1,600	1,471
国際学部	100	300	173
医療保健科学部	200	200	247
大学院グローバルコミュニケーション研究科	5	10	1
大学院健康栄養科学研究科	4	8	6
大学院リハビリテーション科学研究科	4	8	14
大学院こども発達学研究科	4	8	5
北海道文教大学附属高等学校	160	480	486
幼保連携型認定こども園北海道文教大学附属幼稚園	—	110	94

(令和5年5月1日現在/単位:人)

教職員の概要

区分		法人	大学院	大学	高校	幼稚園	計
教員	本務	—	0	117	28	21	166
	兼務	—	0	96	11	8	115
職員	本務	4	0	65	3	3	75
	兼務	0	0	3	0	0	3

(令和5年5月1日現在/単位:人)

施設等の概要

キャンパス名	所在地	面積	
		土地(㎡)	建物(㎡)
札幌キャンパス	札幌市南区藤野400番地 他	97,589	0
北海道文教大学	恵庭市黄金中央5丁目196番地の1	100,534	37,765
北海道文教大学附属高等学校	恵庭市黄金中央5丁目207番11	12,297	8,086
幼保連携型認定こども園 北海道文教大学附属幼稚園	恵庭市漁町396番	4,087	1,209
合 計		214,507	47,060

(令和6年5月1日現在)

役員・評議員等の改選

理事長	鈴木 武夫		
常務理事	浅見 晴江		
理事	渡部 俊弘	伊藤 雅夫	北越 俊二
	玉川 裕一	青 晴海	
監事	中村 至	久米 信行	
評議員	鈴木 武夫	浅見 晴江	渡部 俊弘
	伊藤 雅夫	北越 俊二	玉川 裕一
	青 晴海	三枝 和也	山本 淑子
	宮路 真人	小田 進一	島 里枝
	池田 啓子	小向 朝子	野呂 美貴子

(令和6年7月1日現在)

II 事業の概要

1.法人の事業概要

(1)理事会・評議員会の開催状況

会議名	開催回数
理事会	6回
評議員会	3回

(2)主な施設設備の取得とその進捗状況 (単位:千円)

【特別事業】複数年度計画		予算額(千円)	実績額(千円)
法人	① 札幌キャンパス跡地整備 実施年度 令和3～5年度 総事業費560,000千円、(R3執行なし、R4_73,445千円執行R5_491,757千円執行)	486,942	491,757
	② キャンパスランドデザインの再構築(大学校舎整備)実施年度 令和3～5年度 総事業費100,000千円、(R3_1,925千円執行、R4_27,538千円執行、R5_67,497千円執行)	70,240	67,498
	③ 大学改組改編 実施年度 令和4～5年度 総事業費110,000千円(R4_64,433千円執行、R5_45,243千円執行)	50,000	45,351
	④ スポーツアリーナ(室内練習場) 実施年度 令和4～5年度 R4第1回補正承認 総事業費690,000千円、R5第2回補正承認 総事業費728,930千円(R4_執行なし、R5_723,379)	728,930 690,000	723,380
計		1,336,112 1,297,182	1,327,986

【学園事業】		予算額(千円)	実績額(千円)
法人	新型コロナウイルス感染症対応等	10,000	0
計		10,000	0

【学生募集事業】		予算額(千円)	実績額(千円)
大学	外国人留学生募集事業 実施年度 令和5～6年度 R5第2回補正承認 総事業費20,000千円	20,000	17,600
計		20,000	17,600

【修学支援・奨学金事業】		予算額(千円)	実績額(千円)
大学	① 私費留学生授業料等減免	4,544	2,900
	② 在学生成績特待・スポーツ特待減免	53,800	41,090
	③ 緊急支援学費等減免	2,000	0
	④ 北海道文教大学奨学金 (経済的理由により修学が困難な学生他)	7,200	5,520
計		67,544	49,510

【修学支援・奨学金事業】		予算額(千円)	実績額(千円)
高校	① 特待生制度等減免	44,591	43,219
	② ニューホープ奨学金(通学定期券補助)	13,835	12,245
	③ ニューライフ補助金(寮費補助)	4,780	4,625
計		63,206	60,089

【施設設備整備事業】		予算額(千円)	実績額(千円)
大学	高圧受変電設備(キュービクル増設) 実施年度 令和5～6年度 R5第2回補正承認 総事業費50,000千円	50,000	0
大学	省エネ対策 照明LED化 (1号館及び学生食堂照明器具等交換) 実施年度 令和5～8年度/R5当初 総事業費16,280千円R5第2回補正承認 総事業費3,939千円(リース取引による)※令和6年度以降、各棟建設年度の順に照明器具等交換を行っていく(都度積算)	3,939 16,280	1,969
大学	野球練習場防球ネット整備 (1号館及び学生食堂照明器具等交換) R5当初 総事業費84,260千円 R5第2回補正承認 総事業費83,600千円	83,600 84,260	83,600
大学	大学校舎整備(体育館屋上防水改修工事及び本館壁面コーキング打ち替え) R5当初 総事業費24,350千円 R5第2回補正承認 総事業費22,143千円	22,143 24,350	22,143
計		159,682 174,890	107,712

事業計画	予算額(千円)	実績額(千円)
法人	10,000	0
大学	247,226	174,822
高校	63,206	60,089
こども園	—	—
総計	320,432	234,911

北海道文教大学・大学院

令和5年度には、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが季節性インフルエンザと同じ「5類」に移行したことにより、本学においても、授業や実習、諸行事、課外活動などがほぼ平常時に戻った。

こうした中、18歳人口の急速な減少を見据えるとともに、地域課題を解決し、持続可能な社会を実現するための中核となれる人材の育成を目指した、地域未来学科の設置が文部科学省から認められた結果、令和6年度から3学部7学科の体制が整えられることとなった。また、学長ガバナンスの下、PDCAサイクルを意識した教育・研究の内部質保証の向上を目指し、次のような事業を行った。

- ① 授業内容や手法の見直しを図り、教育・研究の質保証の向上に努めた。
- ② 国際化戦略の推進による国際性のある人材の養成に取組んだ。
- ③ スポーツ分野などで活躍している学生の確保や活動の支援に努めた。
- ④ 地域連携や社会貢献に積極的に取組むとともに、地域に開かれた大学を目指す取組を推進した。
- ⑤ SDGs（持続可能な開発目標）への取組みを積極的に推進した。
- ⑥ キャンパスランドデザインの再構築やデータサイエンス・AIの導入などを見据え、時代の変化に対応した教育・研究体制の充実や環境整備に努めた。
- ⑦ 先端的教育・研究事業を推進した。
- ⑧ 大学のブランド力や研究力の向上に取組んだ。

北海道文教大学附属高等学校

令和5年度は恵庭キャンパスへ移転し3年目となり、校名変更後の入学生で全学年が揃った。また、新教育課程プログラムも完成年度を迎え、放課後の各種活動が各学年揃って実施でき、加えて感染症の扱いも変わったことから、これまで未実施だった行事や活動は、新たに工夫され開催することができ、教育活動の場が広がった年度となった。

学校経営方針のスローガン『いきる学びを一人一人へ 信頼を創る学校づくり』を3年間継続した結果、定員充足率は上昇し、各教員がICT等を活用した授業を実践し改善を図ることなどにより、北海道文教大学への進学者の増加や、国公立大学一般受験において複数名の合格者が出るなど、学力の向上が着実に図られるとともに、地域と連携した新しい取組や活動が加速し、本校生徒の存在が一層認知されてきた。

そこで、令和5年度については、計画に基づき、次のとおり事業を行った。

- ① 教育の質向上に向けた取組
- ② 進学・就職支援
- ③ 生徒募集
- ④ 地域連携と社会貢献活動
- ⑤ その他（北海道文教大学との連携）

幼保連携型認定こども園北海道文教大学附属幼稚園

幼保連携型認定こども園北海道文教大学附属幼稚園として、恵庭における0歳からの教育理念の普及に努め、大学・大学院と連携して、乳幼児期の教育の重要性の周知を目指してきた。

3年度目の本年度は、職員の確保を最優先として保育の基盤整備に努めてきた。病気休職・産休・育休者の補充がままならない状態ではあったが、基礎的な実践を着実に積み上げるために、会議や職員研修を通じて討議による共通理解を深めるための取り組みを行ってきた。保育実践を探究する基本姿勢を教職員で共通理解し、保育の理想追求に向けて基盤は整いつつある。

Ⅲ財務の概要 令和5年度決算の概要

①資金収支計算書の状況

【資金収支計算書とは…(学校法人会計第6条)】

学園の諸活動に対応するすべての資金の流れを表すもので、令和4年度決算書より算出した前年度繰越支払金をもとに、令和5年度の収支および支出を計上した後、令和5年度の翌年度繰越支払資金を表した計算書です。

資金収支総括 令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

資金収入

単位:千円

科 目	予算①	決算②	差異(①-②)
学生生徒等納付金収入	2,766,904	2,754,909	11,995
手数料収入	29,445	25,273	4,172
寄付金収入	11,673	6,752	4,921
補助金収入	745,460	781,152	△35,692
資産売却収入	200	185	15
付随事業・収益事業収入	15,932	16,381	△449
受取利息・配当金収入	12,158	12,027	131
雑収入	52,943	73,819	△20,876
借入金等収入	500,000	500,000	0
前受金収入	402,460	374,195	28,265
その他の収入	618,945	615,395	3,550
資金収入調整勘定	△494,202	△548,314	54,112
当年度資金収入合計(A)	4,661,918	4,611,774	50,144
前年度繰越支払資金(B)	3,893,258	3,893,258	0
収入の部合計(A)+(B)	8,555,176	8,505,032	50,144

資金支出

単位:千円

科 目	予算①	決算②	差異(①-②)
人件費支出	1,967,227	1,962,521	4,706
教育研究経費支出	1,339,627	1,337,252	2,375
管理経費支出	808,451	801,244	7,207
借入金等利息支出	8,841	7,618	1,223
借入金等返済支出	86,150	86,130	20
施設関係支出	976,010	885,308	90,702
設備関係支出	116,058	110,690	5,368
資産運用支出	0	0	0
その他の支出	94,546	96,792	△2,246
資金支出調整勘定	△51,864	△189,106	137,242
当年度資金支出合計(C)	5,345,046	5,098,449	246,597
翌年度繰越支払資金(D)	3,210,130	3,406,583	△196,453
支出の部合計(C)+(D)	8,555,176	8,505,032	50,144

【資金収支計算書の概要】

資金収入の部合計は85億5032千円、支出の総額から期末未払金等の資金支出調整勘定を差引いた金額は50億98,449千円となります。結果として翌年度繰越支払資金は34億6,583千円となり、前年度比4億86,675千円の減額となりました。

②事業活動収支計算書の状況

【事業活動収支計算書とは…(学校法人会計基準第15条)】

学園の諸活動に対応する収支を3つの活動に区分することを定め、「経常的な収支」と「臨時的な収支」に区分し、更に「経常的な収支」を「教育活動」と「教育活動外」に区分することで、それぞれに対応する事業活動収入と事業活動支出の収支内容を明らかにすることを目的としています。特に「教育活動に係る収支がどのような状態であるかを把握することが重要」としています。

事業活動収支計算書総括表 令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

教育活動収支

単位:千円

科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金	2,766,905	2,754,909	11,996
手数料	29,445	25,273	4,172
寄付金	11,673	4,203	7,470
(現物寄付)	0	(321)	(321)
経常費等補助金	744,569	780,978	△36,409
付随事業収入	15,932	16,382	△450
雑収入	52,859	73,735	△20,876
教育活動収入計	3,621,383	3,655,480	△34,097
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費	1,971,248	1,976,212	△4,964
(退職給与引当金繰入額)	(73,005)	(82,674)	(9,669)
教育研究経費	1,797,622	1,797,157	465
(減価償却額)	(457,863)	(459,447)	(△1,584)
管理経費	824,560	816,833	7,727
(減価償却額)	(17,518)	(16,876)	(642)
徴収不能額等	0	3,392	△3,392
教育活動支出計	4,593,430	4,593,594	△164
教育活動収支差額(A)	△972,047	△938,114	△33,933

教育活動外収支

単位:千円

科 目	予 算	決 算	差 異
受取利息・配当金	12,158	12,027	131
その他の教育活動外収入	0	0	0
教育活動外収入計	12,158	12,027	131
科 目	予 算	決 算	差 異
借入金等利息	8,841	7,618	1,223
その他の教育活動外支出	0	0	0
教育活動外支出計	8,841	7,618	1,223
教育活動外収支差額(B)	3,317	4,409	△1,092
経常収支差額(A)+(B)	△968,730	△933,705	△35,025

特別収支

単位:千円

科 目	予 算	決 算	差 異
資産売却差額	200	185	15
その他の特別収入	2,774	16,361	△13,587
特別収入計	2,974	16,546	△13,572
科 目	予 算	決 算	差 異
資産処分差額	0	176,776	△176,776
その他の特別支出	1,408	1,286	122
特別支出計	1,408	178,062	△176,654
特別収支差額(C)	1,566	△161,516	163,082

単位:千円

【事業活動収支計算書の概要】

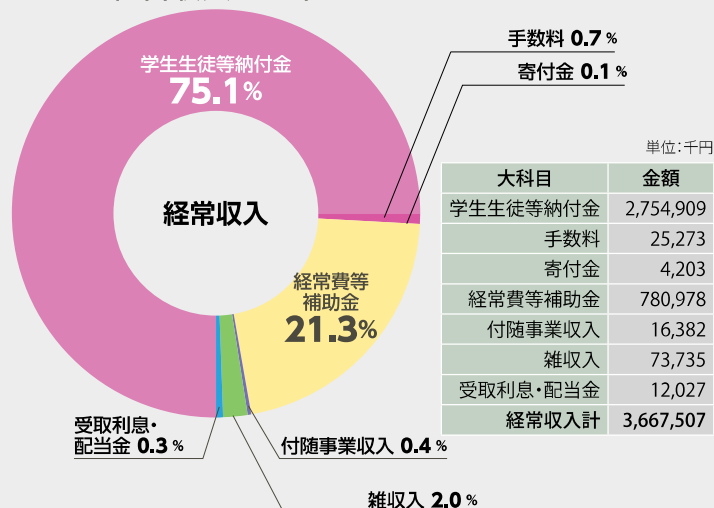
事業活動収入 36億84,053千円、事業活動支出 47億79,274千円です。

事業活動収支計算書では、事業活動収入から事業活動支出を比較し、その収支差額 △10億95,221千円から基本金組入額 4億77,556千円を控除し、当年度収支差額は15億72,777千円の支出超過となりました。前年度繰越収支差額 △20億41,581千円、基本金取崩額 17,898千円であり、翌年度繰越収支差額は △35億96,460千円となりました。

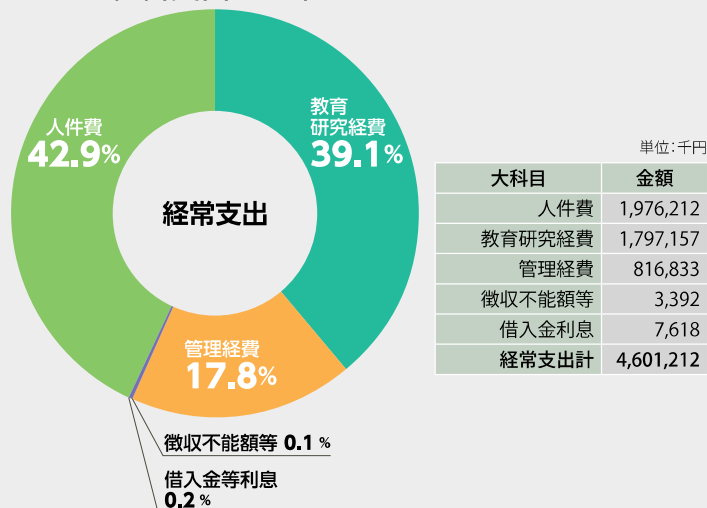
科 目	予 算	決 算	差 異
	(50,000)		
〔予備費〕(D)	0	0	0
基本金組入前当年度収支差額 (A)+(B)+(C)	△967,164	△1,095,221	128,057
基本金組入額合計	△1,178,177	△477,556	△700,621
当年度収支差額 (E)	△2,145,341	△1,572,777	△572,564
前年度収支差額 (F)	△2,041,581	△2,041,581	0
基本金取崩額	0	17,898	△17,898
翌年度繰越収支差額(E)+(F)	△4,186,922	△3,596,460	△590,462
(参考)			単位:千円
科 目	予 算	決 算	差 異
事業活動収入計	3,636,515	3,684,053	△ 47,538
事業活動支出計	4,603,679	4,779,274	△ 175,595

経常収入・経常支出に対する比率(教育活動収支+教育活動外収支)

経営収入の比率



経営支出の比率



③ 貸借対照表の状況

【貸借対照表とは…(学校法人会計基準4条関係)】

令和6年3月31日現在の財政状態を表した計算書類で資産と負債・純資産・繰越収支差額の状況を表しています。

資産の部

単位:千円

科 目	令和5年度末	令和4年度末	増 減
有形固定資産	9,815,995	9,456,922	359,073
特定資産	420,000	970,000	△550,000
その他の固定資産	3,273	6,247	△2,974
流動資産	3,489,677	3,958,209	△468,532
資産の部合計	13,728,945	14,391,378	△662,433

【貸借対照表の概要】

資産の部合計137億28,945千円、負債の部合計27億50,599千円となりました。純資産の部109億78,346千円は、基本金と翌年度繰越収支差額で構成された金額です。

(資産の部) - (負債の部) = 自己資本(自己資金)

負債の部

単位:千円

科 目	令和5年度末	令和4年度末	増 減
固定負債	2,043,949	1,662,394	381,555
流動負債	706,650	655,417	51,233
負債の部合計	2,750,599	2,317,811	432,788

純資産の部

単位:千円

科 目	令和5年度末	令和4年度末	増 減
基本金	14,574,806	14,115,148	459,658
繰越収支差額	△3,596,460	△2,041,581	△1,554,879
純資産の部合計	10,978,346	12,073,567	△1,095,221
科 目	令和5年度末	令和4年度末	増 減
負債及び純資産の部合計	13,728,945	14,391,378	△ 662,433

OPEN CAMPUS

2024 10/6 SUN

オープンキャンパス

日程:10月6日(日) 時間:10:00~15:00 (受付開始9:30)

北海道文教大学の学びの特色や、
多様な総合型選抜の説明などの
トピックを紹介します。



各学科の学びの特色や目指す職業の仕事内容などを体験することができるプログラムをご用意いたします。



奨学金や住まいの相談、入試制度、
学科の学びについてなど、進学にまつわる
さまざまな疑問や不安にお答えします。



恵庭での学生生活がイメージできるように、
マイクロバスに乗って恵庭市内を探索する
ツアーを実施します。



学生スタッフが、学内の見どころを学生の目線で解説しながらご案内します。在学生ならではのリアルな学生生活の話を聞くこともできます。



出願希望者

学科によって異なる、
総合選抜や小論文対策講座を
実施します。

オープン
キャンパスの
お申し込み
はこちら



2024年度 北海道文教大学 オンライン個別相談会のご案内

遠方にお住まいでなかなかオープンキャンパスに参加できない方や、学科教員と個別にお話したい方を対象として、オンラインでの相談会を実施しています。日程や時間は、個別に調整いたしますので、お気軽にお申し込みください。

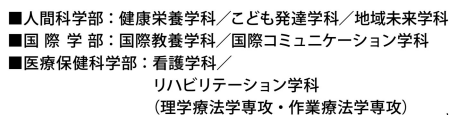
**オンライン
個別相談会の
お申し込み
はこちら**



活かす人へ

 北海道文教大学

入試広報課
公式LINE



www.do-hinkyodai.ac.jp

@dobunkvodai

オープンキャンパス、
入試のお問い合わせはコチラ▶▶

入試
広報課

入試専用

01

入試は

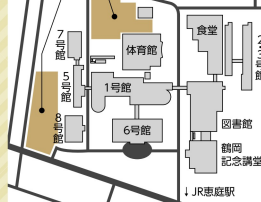
ここに

入試専用  0120-240-552

入試広報課では、資料請求をはじめ様々なご相談にお答えします。お気軽にご連絡ください。

ACCESS

—アクサス—



■JR利用の場合

- JR恵庭駅から
JR恵庭駅「東口」から直道徒歩8分で
北海道文教大学正門に到着
- 札幌駅から
「千代線」乗車、2駅目の「恵庭駅」下車後、
東口より直道徒歩8分で
北海道文教大学正門に到着
JR恵庭駅まで快速「エアポート」で24分
(快速エアポートは約12分おきに運行しています)
- 新札幌駅から
「千代線」乗車、2駅目の「恵庭駅」下車後、
東口より直道徒歩8分で
北海道文教大学正門に到着
JR恵庭駅まで快速「エアポート」で15分
(快速エアポートは約12分おきに運行しています)

■自家用車で来学される場合

- 高速道路「恵庭IC」下車。高速道路出口を左折、恵庭川沿大通（道道117号線）を直進8分で北海道文教大学到着（駐車場は左に記載のとおり）